

## RFL 関西実行委員会 2024年1月 定例会 議事録

日 時：2024年1月14日（日）13：00～17：00

場 所：芦屋市青少年センター 第1研修室

出席者：城村、金山、熊谷、高岡（zoom参加）、須天、

公益財団法人日本対がん協会：是澤、松島（日本対がん協会）以上2名 zoom参加、

進 行：須天

記 録：須天

### 1. 前回以降の経緯、報告、検討課題

#### (1) 芦屋市関連

- ・芦屋市健康センターを通じて/9/7～8 会場仮押さえを完了した

#### (2) 日本対がん協会関連

- ・個人情報管理体制キントーンを導入することに向けて、その取扱、留意事項について質疑を行い、個人情報の管理名義と責任範囲など、法務的な穴がないか再度確認いただくこととした。
- ・summit&kick off 参加者について、2024年度の体制／実行委員長が決まっていなくても参加は可能であると確認し、実行委員会 ML にて早急に自薦他薦により募集することとした。
- ・合意書締結にむけては、ロードマップに従い、しっかりとした事業計画を立てた上で臨むこととした。

◎前回以降の経緯報告とシェア

#### (3) その他

- ・三菱UFJ BK/法人用ネットバンキングの登録を完了し、振込や確認の手間を省略できることとなった。

### 2. Road MAP from 2023

#### (1) スタッフ（2023体制＋4名）確保のために

- ・2023年協力いただいたボランティアさんへのお声掛け、リードあしやでの交流を通じたお声掛け、実行委員会個々のスタッフの一本釣りでなんとでもコアスタッフ4名増員を図る。合わせて定例会の出席率をあげる。

#### (2) 収入計画について（数値目標を実現するために）

##### ①協賛広告費（対2023年で+14万円以上）

- ・3月までを重点的に施策を講じ、以下のとおり施策を実施する。
- ・昨年並+を目指すということから、昨年の協賛先について個別訪問し、報告とお礼を伝え、2024年の協賛金獲得を目指す。特にJCRファーマについて3月までに2024年の協賛金満額以上の獲得を目指して働きかける。
- ・黄色いレシートキャンペーンについては、系列店一本化の動きを受けて甲子園での開催に一本化し、芦屋浜については掲示板を使っのチラシ配架や掲示板を通じての広報活動を継続する。
- ・新たな助成金については、木口財団、「スポーツ振興くじ（TOTO）」への応募を検討する。応募資料の作成は必要に応じて知恵を出し合い、分担して作成する。
- ・スポーツ振興くじへの応募については、法人格が必要であり、芦屋市スポーツ協会を通じて応募できないか協会と協議する。（これに関連して、キャンドル・ランの運営をスポーツ協会に依頼するという案あり）
- ・3月までに市内企業10社以上をリストアップし、企業訪問、5件の協賛金獲得（1件3万円）を目指す。

##### ②募金箱（設置数を増やす？or回収効率を上げる？or両方可能？）

- ・全設置数が約200箇所、昨年回収できた募金箱は43箇所、本年度は設置数を上げることから回収率をあげることに軸足を移す。そのために、募金箱設置先をエリア別にリスト化し、手分けして個別訪問、報告書を手渡し、その模様をSNSにあげるなどし、拡散を目指し、RFL芦屋の認知度向上にもつなげる。そのためにInstagramを再度開設し、相互フォロー、リポストしあえる関係を構築し、募金額の増加、回収率の向上を目指す。

##### ③リレーウォーク参加を募るために（目標有料来場者482名、対2023年+220名）

- ・個別具体策については、2月の定例会で議論、検討する。

- ・4/7 芦屋市さくらまつり、4/14 あしやさくらファンラン 開催、3/3～4/15 にかけて市内7カ所に横断幕設置する。
  - ・RFL 芦屋の認知度向上と当日参加者を目的として、8/26～9/9 にリード芦屋 1F ギャラリースペースを用いて開催告知及びグッズ委託販売を実施、そのための仮押えが完了したことを確認した。
  - ・RFL 芦屋の認知度向上と当日参加者を目的として、7/31～9/9 芦屋市役所本庁内 1F 東側通路壁面(カフェ前)において広報活動を行う。そのための仮押えが完了したことを確認した。
- ④キャンドル・ランを募るために（目標有料参加者 180 名、対 2023 年+76 名）
- ・個別具体策については、2月の定例会で議論、検討する。
  - ・芦屋市スポーツ協会で開催されるスポーツフォトコンテストは青少年センターに長い期間掲示されることから、キャンドル・ラン応募について応募することとした。してみては？
- ⑤Tシャツ等オリジナルグッズ収入を増やすために（目標 393,200 円、対 2023 年+10 万）
- ・ロゴの作成を3月までに行う
  - ・4月にグッズのラインアップ案を出す。
  - ・当日についてはピーク時に販売に慣れたスタッフを増員し、対応する体制を検討する。
  - ・時間帯によっては移動販売も検討する。
  - ・販売スペースが昨年足りていないとの指摘があり、対応を検討する。

### (3) 支出計画について

#### ①広報費

- ・活動報告書作成/発送作業について検討し、DM 送料の値上げが2月より行われること、昨年 DM 発送した結果、過去参加者が大きく減少したことから、その費用対効果に疑問符がつくことから DM 発送を見送ることとした。
- ・報告書についてはすでに作成済みであり、協賛先、募金箱設置先については個別に手渡しする、持参できない場合は送付することとし、ホームページへの掲載（すでに実施済み）とそこへの SNS を用いた導線を複数回、掲示することを確認した。

#### ②会場施設借用料

- ・引き続き使用料減額できないか情報収集する。

#### ③会場設営費

- ・会場の設営において、見栄え、動線などのコンセプトは基本維持する
- ・電気設営関連において、安定供給や漏電防止のための大型発電機やテントへの蛍光灯設置を見送ることを検討し、各テントにおいては LED 電球による装飾と会場に設置されている照明を使用することを検討する。一度照明を点灯した状態で、LED 電球を点灯し、イメージを確認する。これにより 50 万円弱の経費圧縮を見込む。
- ・ステージ設置方法の検討を引き続き行う。

#### ④その他イベント費用

- ・ランニングの電子計測について見直しの対象とする。GPS アプリや機器の活用が可能かどうか、もしくは計測がない場合でもラン参加者が満足するような方法はないか、幅広く検討する。電子計測がない場合、単純には今までかかっていた約 27 万円の経費圧縮が可能となる。

#### ⑤事務局運営費（雑費）

- ・運搬などで自家用車利用時の燃料代の個人負担について、今後検討する。

### 3. その他

#### (1) 検討事項

- ・元スタッフである故西浦あいさんご遺族から未使用のウィッグを RFL 芦屋で有効利用してほしいとのことで 2 点お預かり中。さまざまな方法を継続して検討する。

#### (2) 予定など

- ・次回定例会は 2 月 4 日 13 時より、青少年センターで実施する
- ・3 月 3 日の定例会前に、横断幕の設置、掲示板ジャック（報告書の掲示）を予定する。

以上